



U F O 1 5 0 0

センターフード

TRUFO - S150C - 43

TRUFO - B150C - 43

給気連動対応センターフード

TRUFO - S150CJ - 43

TRUFO - B150CJ - 43

取付・設置説明書

もくじ

・ 安全上のご注意	1 ~ 2
・ 取付・設置上のご注意	2 ~ 3
・ 取付・設置前の準備	3 ~ 4
・ 別売部品	4
・ 同梱品の確認	5
・ 排気ダクトの穴あけ位置	6
・ 製品の取付け	7 ~ 11
・ ダクトカバーの取付け (オプション品)	12 ~ 15
・ 製品寸法図	16
・ 取付・設置後の点検・清掃	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度 」をいう。
 注意	この表示の欄は「 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度 」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

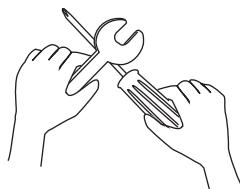
	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、 その行為を禁止する 図記号です。
	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、 指示に基づく行為を強制する 図記号です。

!**警告**

仕様変更・改造は絶対にしないでください。



分解禁止



火災・感電・ケガの原因となります。

メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造物に金属製ダクトを貫通させる場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と電気的に接触させないように取付けてください。



漏電した場合、火災の原因となります。
(電気設備技術基準第182条)

D種接地工事を行ってください。



故障や漏電の時に感電する恐れがあります。
アース線は工事側で手配してください。

取付壁面が金属板張りの場合は、フード本体および、換気扇と金属板とを電気的に接触させないように取付けてください。



漏電した場合、火災の原因となります。
(電気設備技術基準第182条)

本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。



火災などの原因となります。
詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

交流100V以外で使用しないでください。



使用禁止



AC 100Vのみ

火災・感電の原因となります。

整流板を下げる際は水栓に当たらないように注意してください。



整流板を下げた際に、整流板と水栓が干渉して、水栓や整流板が破損する恐れがあります。

⚠ 注意

配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って確実に行ってください。



誤った配線工事は、漏電、感電や火災の恐れがあります。

本体は十分強度のあるところにしっかり取付けてください。



取付注意

落下により、ケガをする恐れがあります。

部品は確実に取付けてください。



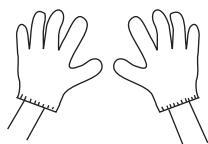
取付注意

落下により、ケガをする恐れがあります。

製品を取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



手袋着用



切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

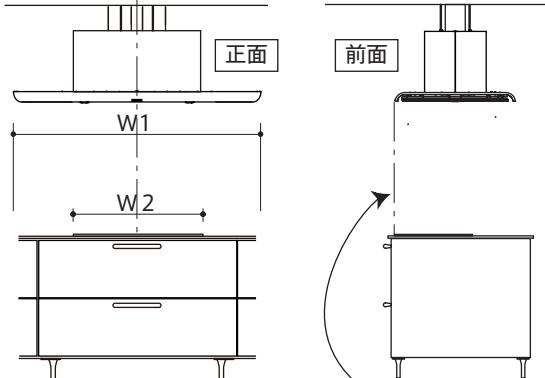
取付・設置上のご注意

1. 建築基準法（同施工令）および消防法等の関連法規に従って取付けてください。

2. 本体の壁への埋め込みは絶対におやめください。

3. 周囲温度が40°C以上になる場所には取付けないでください。
火災・感電の原因となります。

4. 加熱機器はレンジフードの幅内でご使用ください。
排気効率を上げるには加熱機器をレンジフードのセンターに近づけてください。



W1
(レンジフードの幅) \geq W2
(加熱機器の幅)

加熱機器はレンジフードの前面からみ出さないように設置してください。

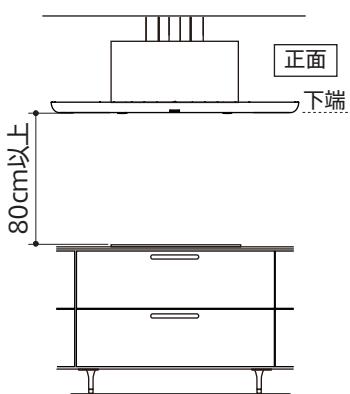
5. 屋外壁面の排気出口に取付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400 m³/h時40 Pa以下のものを使用してください。
防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

6. 指定サイズ（Φ150）以外のダクトや非常に長いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

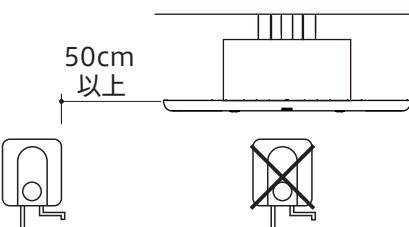
7. ダクトは室外側を若干下げて配管してください。

8. ダクトと排気口の隙間は、付属のソフトテープを使用して塞いでください。

9. レンジフードは加熱機器の真上に取付けてください。
なお、製品の取付け高さは、整流板の下端が加熱機器の真上80cm以上になるようにしてください。

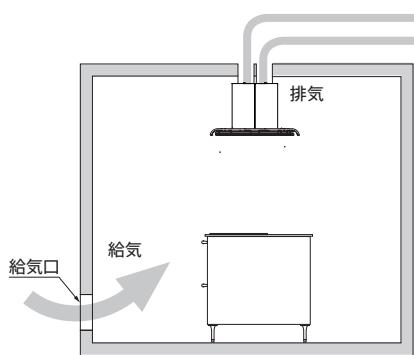


10. レンジフードの下には、絶対に湯沸器を取付けないでください。また、湯沸器を横に取付ける場合には、50cm以上離して取付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。



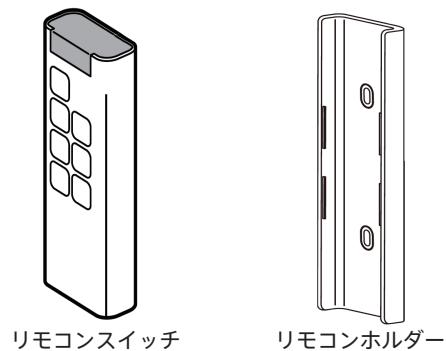
11. 部屋の中央で料理する場合は油煙が捕集しきれない場合がありますので、全体換気のために他の換気扇と併用すると、より優れた換気ができます。
また、突発的に発生した油煙は漏れる事があります。

12. 効率よく換気させるため排気口は2ヶ所設け、排気量に見合う大きさの給気口を設けてください。とくに自然排気型のストーブをご使用のときは、排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがありますので、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をしてください。



- ※外部への排気口はまとめずに必ず2ヶ所設けてください。途中で2つのダクトを1つに繋げたりすると給気効率が悪くなります。
※排気用ダクトの大きさ以上の給気口を排気口と対称の壁に設けると有効です。

13. リモコンホルダーの取付けに関しては、本体に同梱されていますリモコンセットの取付説明書をお読みください。



※リモコンセット

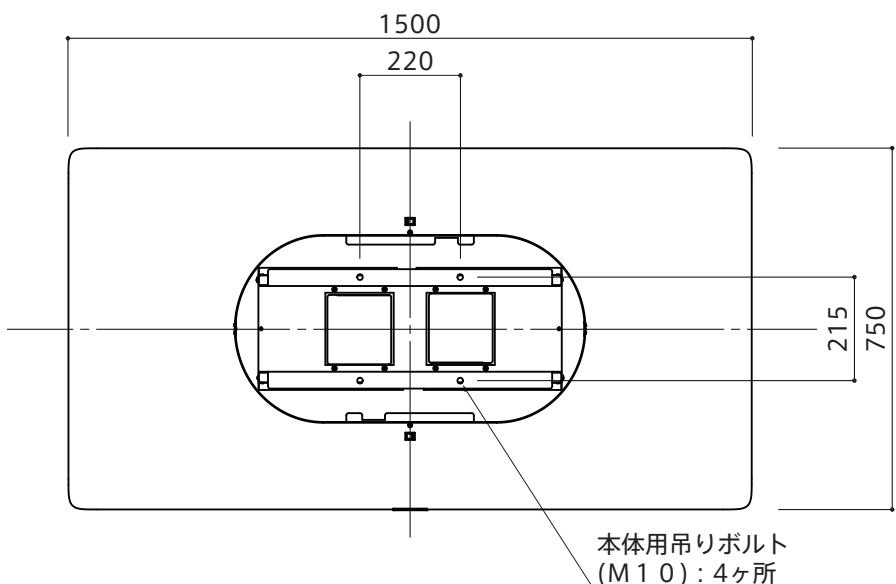
リモコンスイッチ：1個
リモコンホルダー：1個

リモコン1個でレンジフードを運転するのに使います。

取付・設置前の準備

1. 取付桟の確認

- 4本の本体吊りボルトの取付位置に取付桟があるかを確認してください。
- フード前面がキッチン前面に合うように設置してください。



2. 吊りボルトの取付け

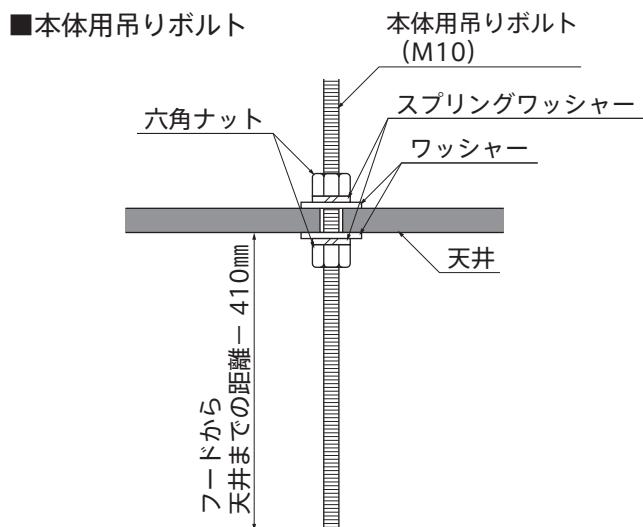
・本体吊りボルト用穴に合わせて、吊りボルトを垂らしてください。

※本体用吊りボルトはM10を用いてください。

※吊りボルトは製品を支える十分な強さを確保してください。必要となる強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。

□フード本体質量

約50kg



3. 天井高さの確認

・製品下面から天井まで、500～1350mm以上の範囲で取付可能です。
(詳細については、「排気ダクトの穴あけ位置」を参照ください。)

4. 別売部品の準備

・排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。(別売部品は下記等がございます。)

5. 電源コンセント

・電源コンセントは専用のものを設置してください。(交流 単相100V) (2ヶ所)
・「アースターミナル付」アース線は、工事側で手配してください。

6. 給気シャッター [給気連動対応の場合のみ]

・給気シャッター (AC100V 出力50Wまで)

別売部品

換気フード

屋外壁面の排気出口に取付けるベントキャップ または
パイプフード。通気抵抗は400m³/h時40Pa以下の
ものを使用してください。



丸形フード (FUJI OH製品)
VC-15H ※メーカー品番
VC-15DH ※メーカー品番

芯ずれ補正ダクト

フード本体の排気位置を30mm以内でずらして補正する
事が出来ます。



TR-TJD15

ジャバラダクト

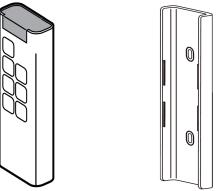
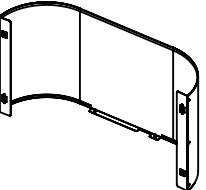
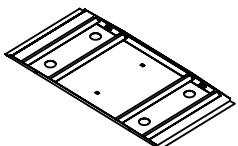
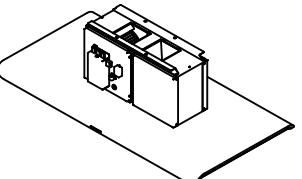
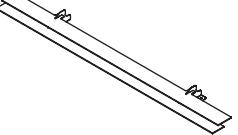
直接排気の中間ダクト



FJ-15
TR-AD

同梱品の確認

下記の部品が同梱されています。取付けを始める前に不足していないか確認してください。

部品名	形 状	数量	備 考
天吊りワッシャー		4個	本体取付用に使用します。 (吊りボルト用)
排気シャッター (ソフトテープ付属)		2個	
リモコンセット		1セット	リモコンスイッチ：1個 リモコンホルダー：1個
オイルトレー		2個	
フードカバー (ローレットネジM4×25 4本付属)		2個	
整流板		1個	
本体		1台	
ルーバー		2個	

別途手配してください。

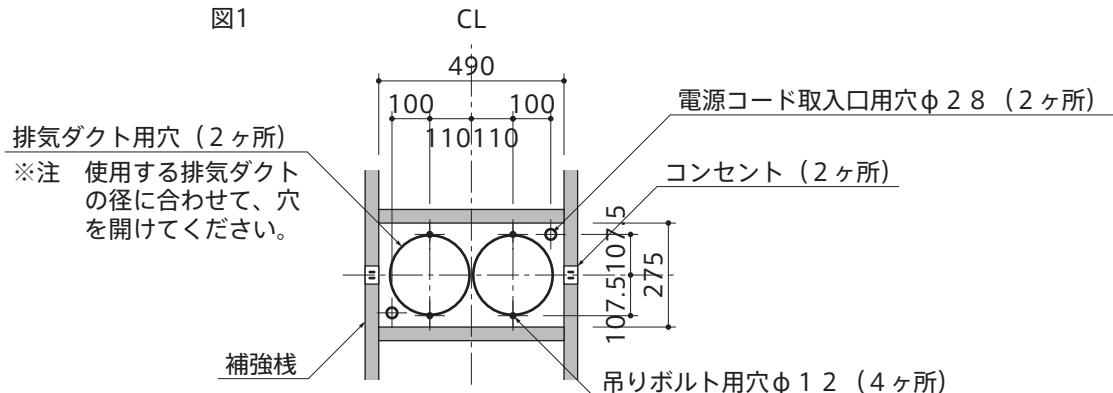
・本体用吊りボルト 4本 ・六角ナット 16個 ・ワッシャー 8個 ・スプリングワッシャー 16個

排気ダクトの穴あけ位置

【天井穴あけ】

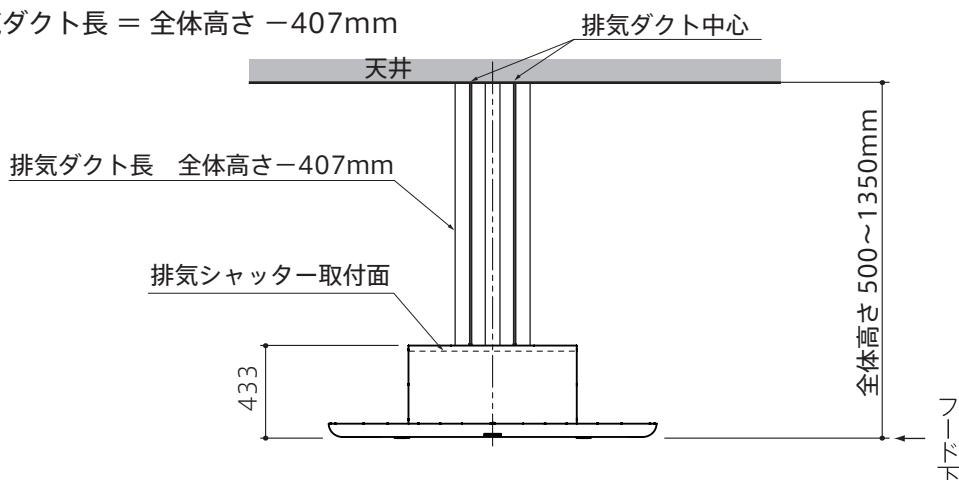
- 1 製品を取付ける天井面の指定位置に穴を開けてください。
 - 2 穴部周辺を補強桿で補強してください。
- ※ 天井補強桿は、野縁・野縁受け等に固定してください。

図1



【排気ダクト計算式】

$$\text{排気ダクト長} = \text{全体高さ} - 407\text{mm}$$



【ステンレスダクト使用の場合】（以下はあくまでも参考となります。）

参考メーカー：栗本鐵工所

型式：クリモトステンレスダクト

ストレートシームダクト型（Φ150）

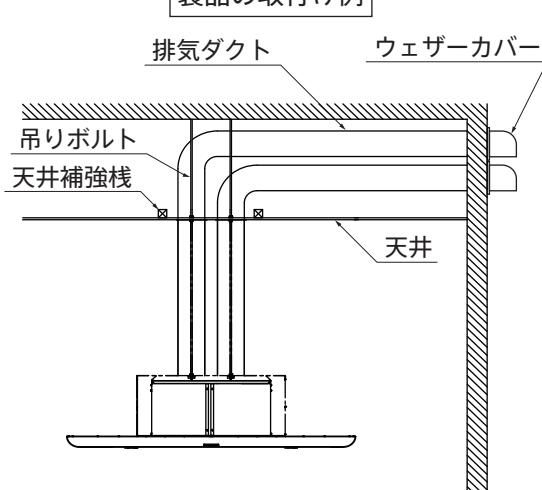
【排気ダクトの取り出し】

- Φ150の排気ダクトを、指定位置（「天井穴あけ」参照）に取り出してください。

【電気工事】

- 補強桿または野縁等に、専用コンセントを2ヶ所設置してください。（交流 単相100V）

製品の取付け例

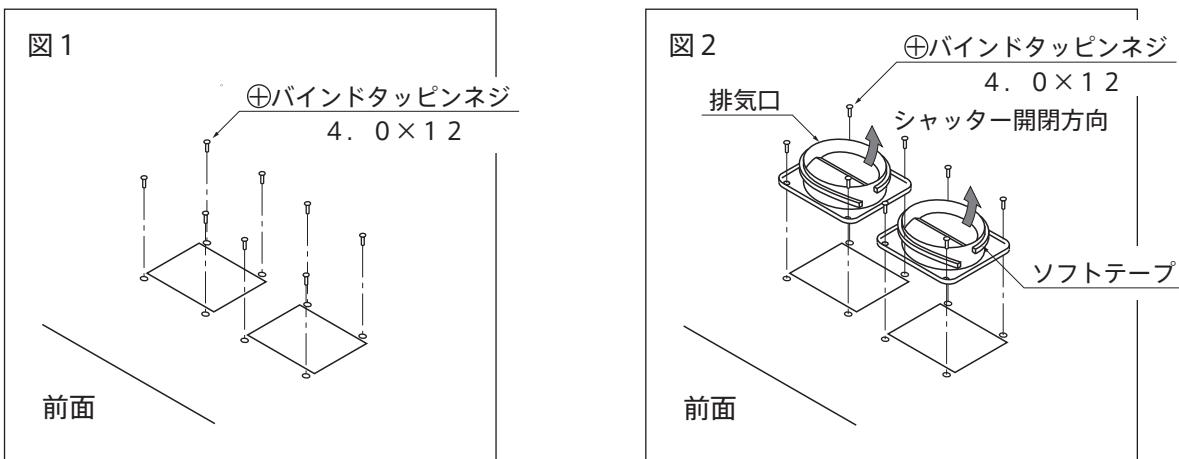


製品の取付け

1 排気用部品の準備（2ヶ所）

- ・シロッコファンを固定しているネジ（ \oplus バインドタッピングネジ 4. 0 × 12）を外します。（図1）
- ・排気口にソフトテープを貼ります。（図2）
- ・さきほど外したネジ（ \oplus バインドタッピングネジ 4. 0 × 12）にて、排気シャッターを取付けます。（図2）

※排気シャッターに付属の説明書に従い、シャッターの開閉方向に注意して取付けてください。

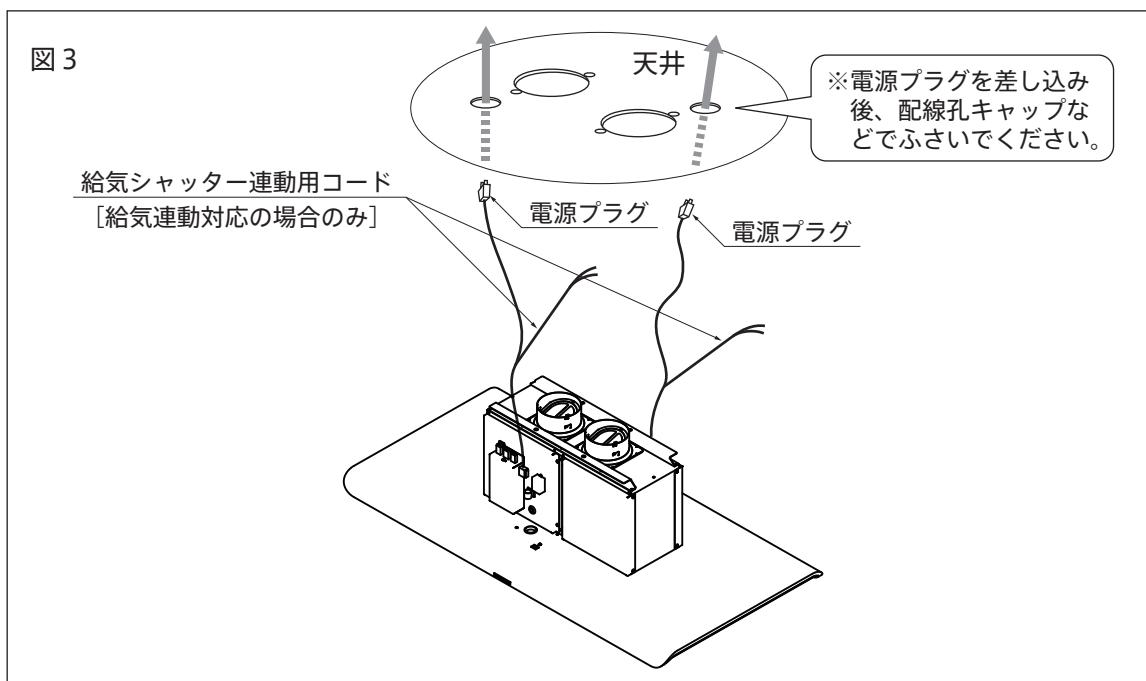


2 電源プラグの差し込み（2ヶ所）

- ・電源プラグを天井内に取付けられたコンセントに差し込みます。（図3）
- ※必ず分電盤のブレーカーを「切」にしてから行ってください。
- ※アース（D種接地工事）を取付けます。

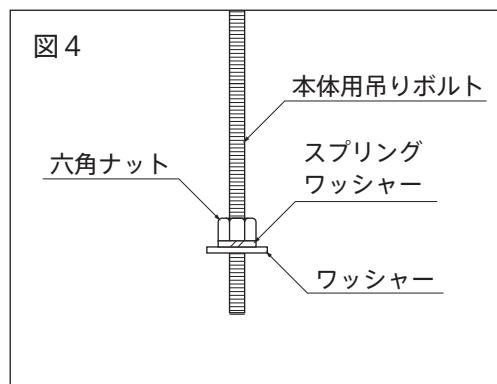
※ 結線 [給気連動対応の場合のみ]（2ヶ所）

- ・フード本体から出ている給気シャッター連動用コードと給気シャッターのコードを速決端子等で結線します。（図3）

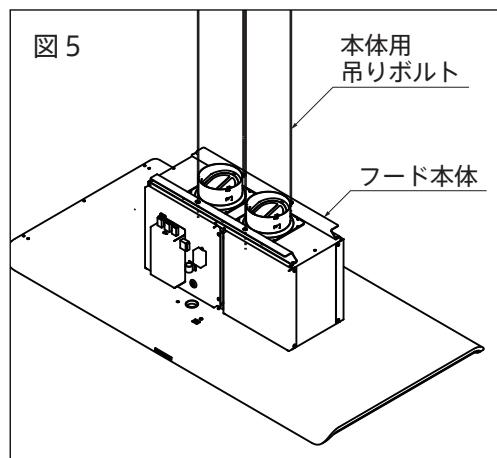


3 本体用吊りボルトを本体に通す

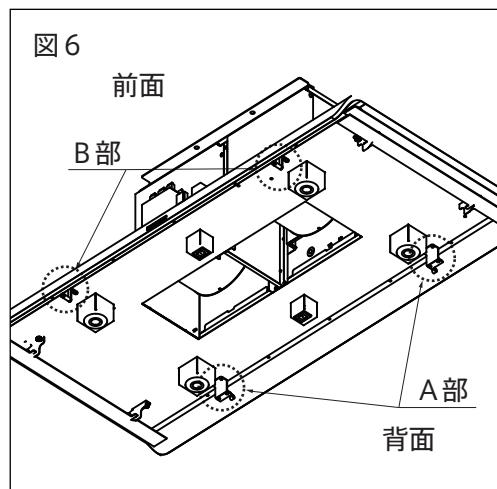
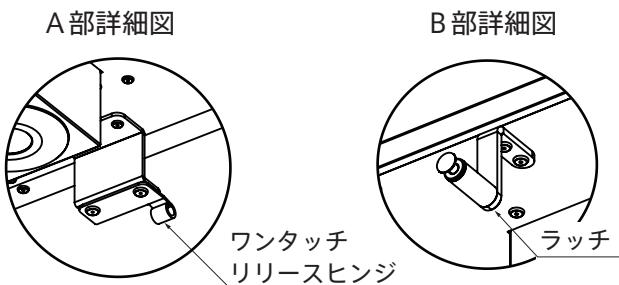
- 天井より垂れている本体用吊りボルトに図4の要領で六角ナット（別途）、スプリングワッシャー（別途）、ワッシャー（別途）を通します。



- フード本体の吊りボルト用穴に、本体用吊りボルトを通します。（図5）
- ※フード本体が落ちないように、下側からしっかり支えてください。

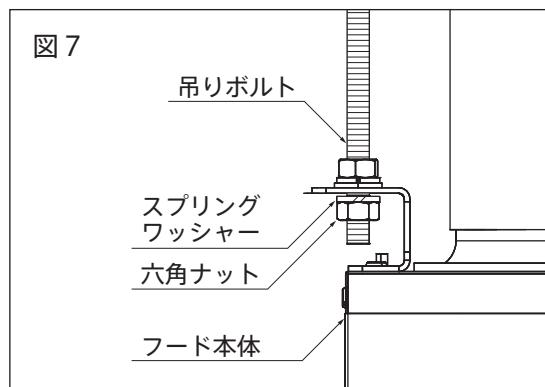


- フード本体の前後を確認して取付けてください。（図6）
- ※前面：整流板B用のラッチがあります。（B部詳細図）
- ※背面：整流板B用のワンタッチリリースヒンジがあります。（A部詳細図）

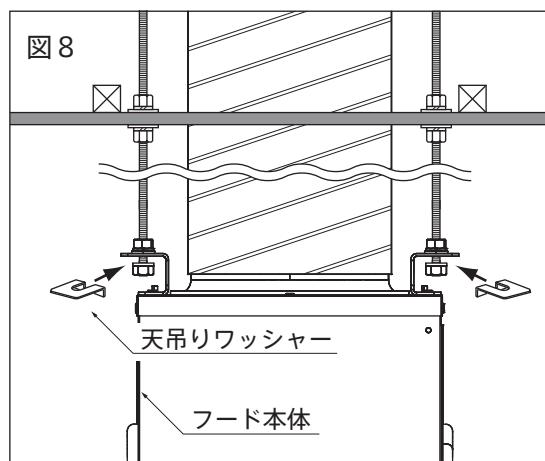


4 フード本体の固定

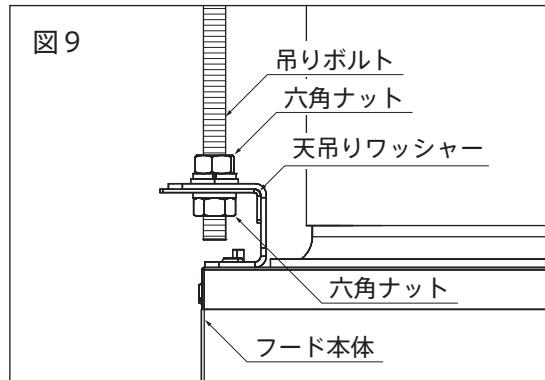
- 4本の吊りボルトに、図7の要領でスプリングワッシャー（別途）、六角ナット（別途）をセットします。



- フード本体を取付け高さに合わせます。
※排気ダクトを排気口に差し込みながら行ってください。
- さきほどセットしたスプリングワッシャー、六角ナットとフード本体上面の間に天吊りワッシャーを差し込みます。（図8）

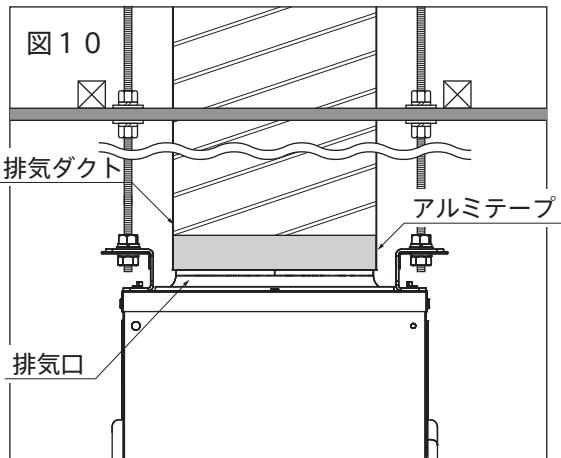


- フード本体下側の六角ナットを締付けた後、フード本体上側の六角ナットを締付けて固定します。（図9）



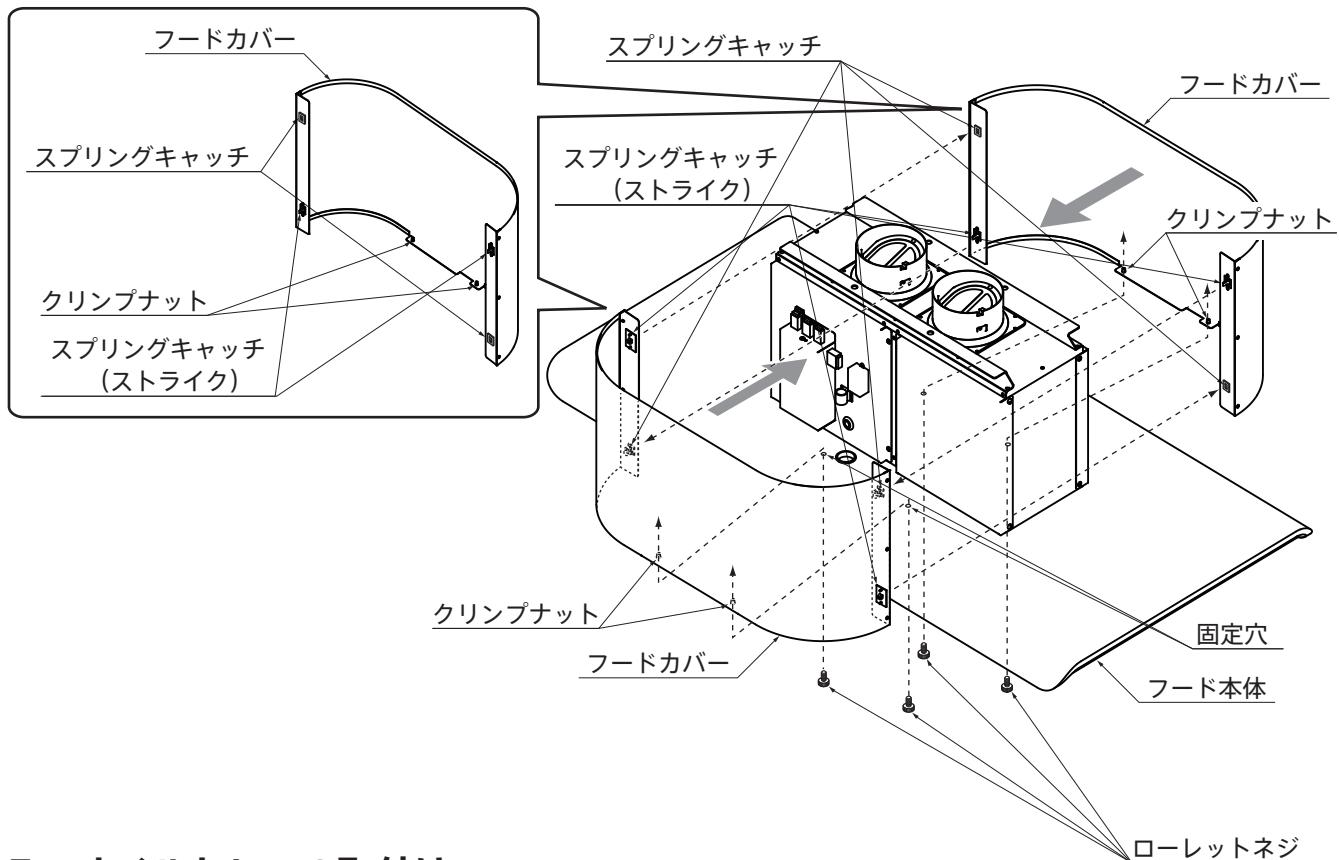
5 排気ダクトの接続

- 風漏れ防止のため、排気口と排気ダクトをアルミテープにてーピングします。（図10）



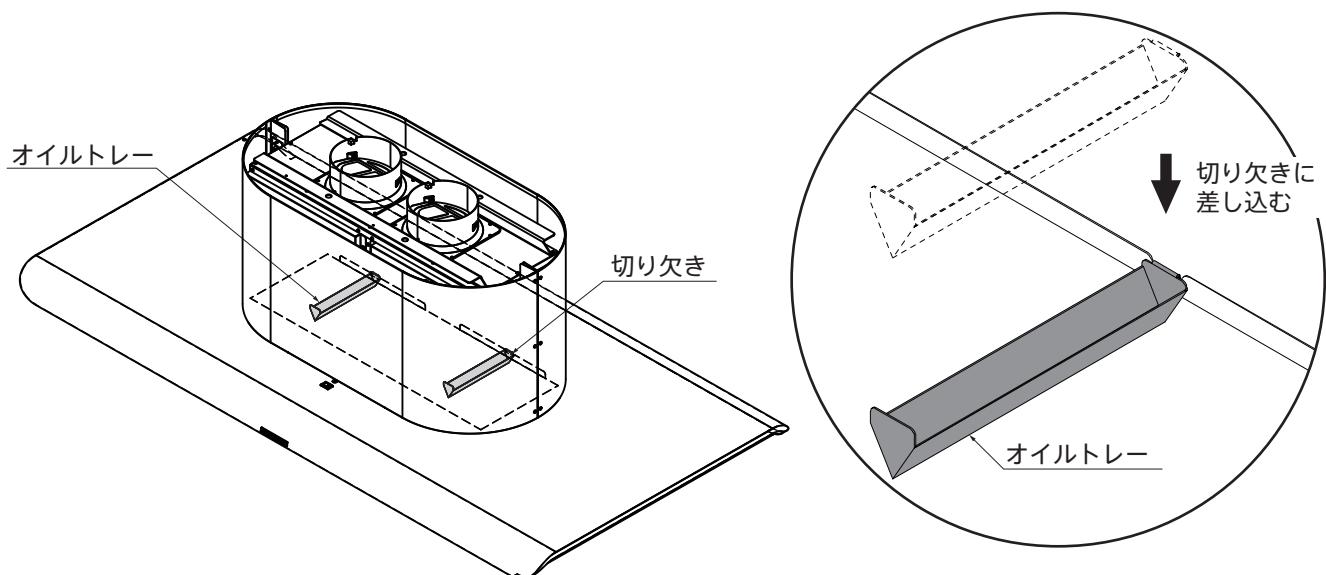
6 フードカバーの取付け

- (1) フード本体の前側と背面側よりフード本体をはさみ込むようにフードカバーのスプリングキャッチ(4ヶ所)の位置を合わせ、はめ込みます。
 - (2) フードカバー下部のクリンプナットの穴とフード本体の固定穴の位置を合わせ、ローレットネジ(4ヶ所)にて固定します。
- ※ フードカバーのすき間が均一になるように調整します。



7 オイルトレーの取付け

- フード本体下側より、切り欠き部分に合わせてオイルトレーを取付けます。

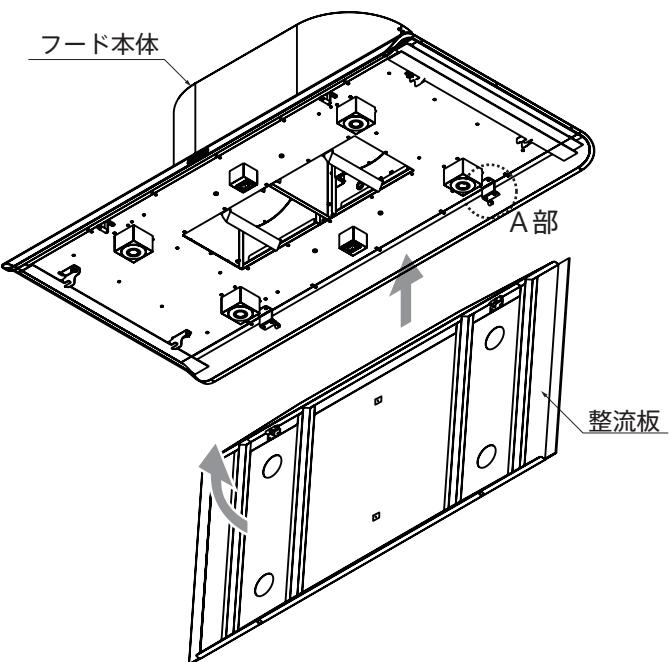
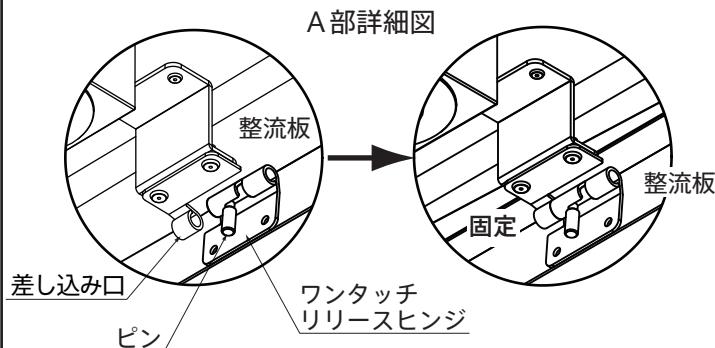


8 整流板の取付け

フード本体下側に整流板を取付けます。

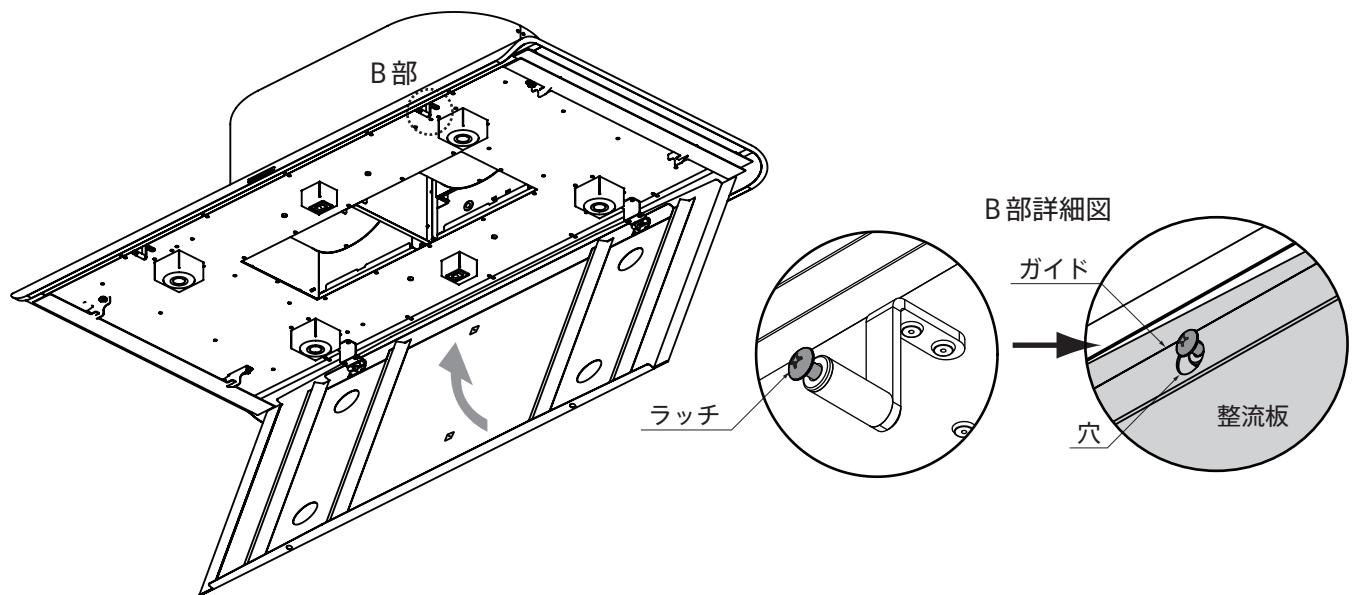
・整流板を持ち上げ、ワンタッチリリースヒンジのピンを外側にスライドさせながら本体の差し込み口に合わせて手を放します。

※ワンタッチリリースヒンジのピンはバネ式になっていますので、手を離すと戻ります。



・整流板の手前を持ち上げ、前面の穴にラッチを引っ掛けるようにして取り付けます。

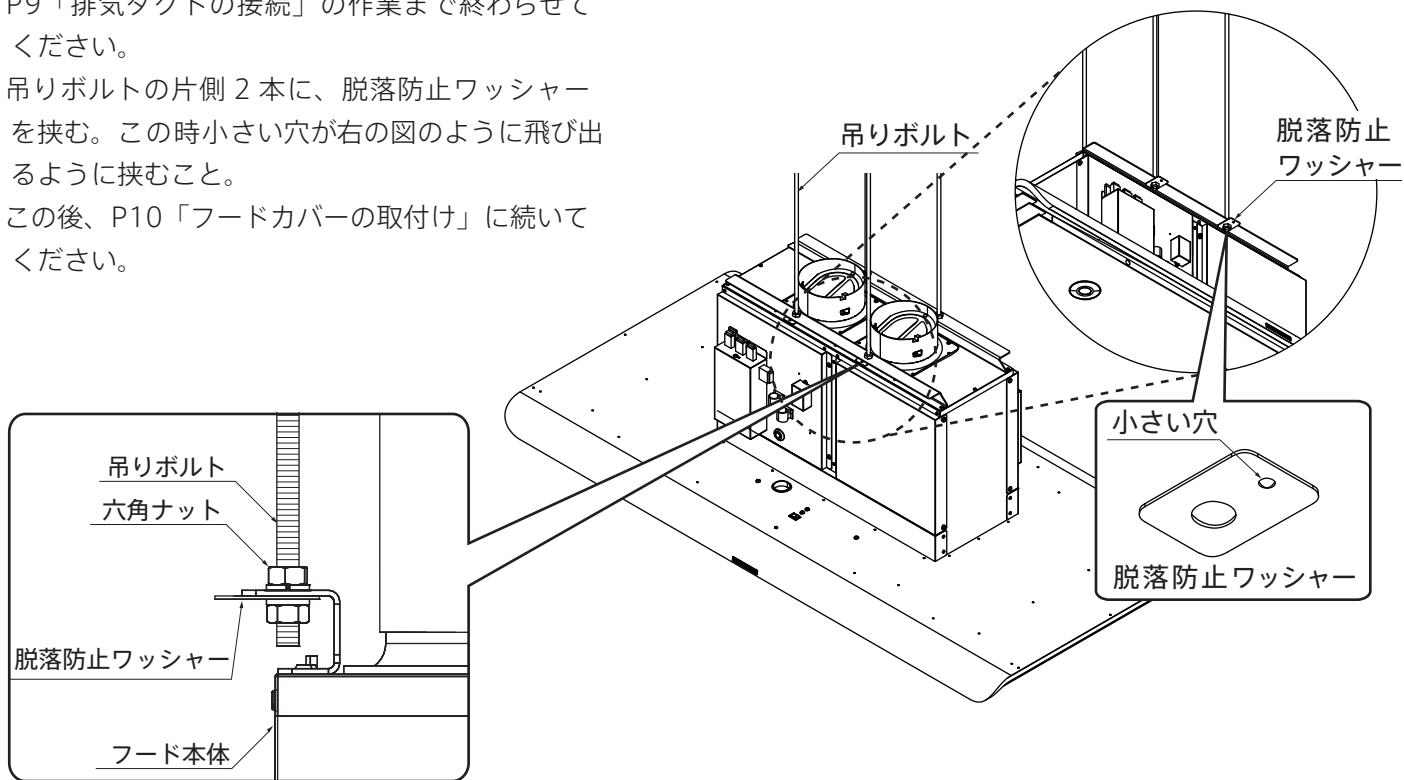
※整流板にはガイドがついていますので、「カチッ！」と音がするまで持ち上げるだけで固定できます。



ダクトカバーの取付け（オプション品）

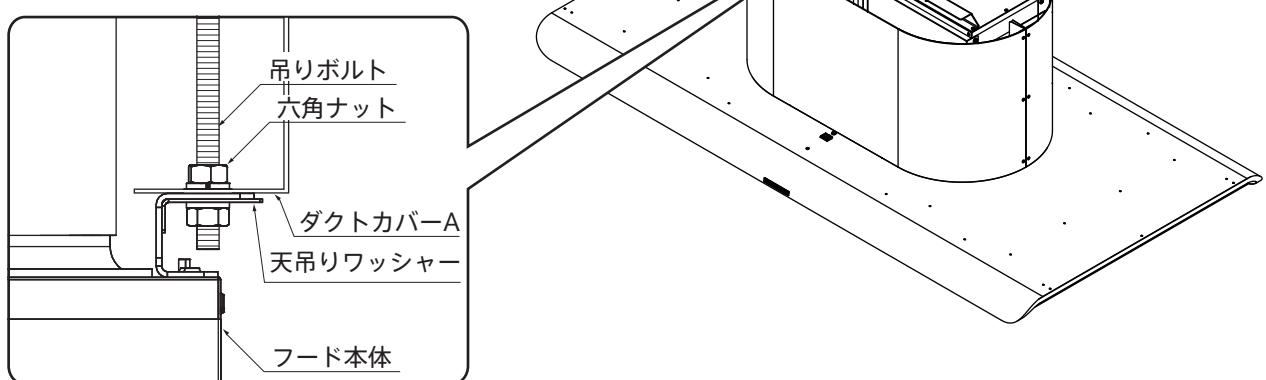
1 脱落防止ワッシャーの取付け

- ・P9「排気ダクトの接続」の作業まで終わらせてください。
- ・吊りボルトの片側2本に、脱落防止ワッシャーを挟む。この時小さい穴が右の図のように飛び出るように挟むこと。
- ・この後、P10「フードカバーの取付け」に続いてください。



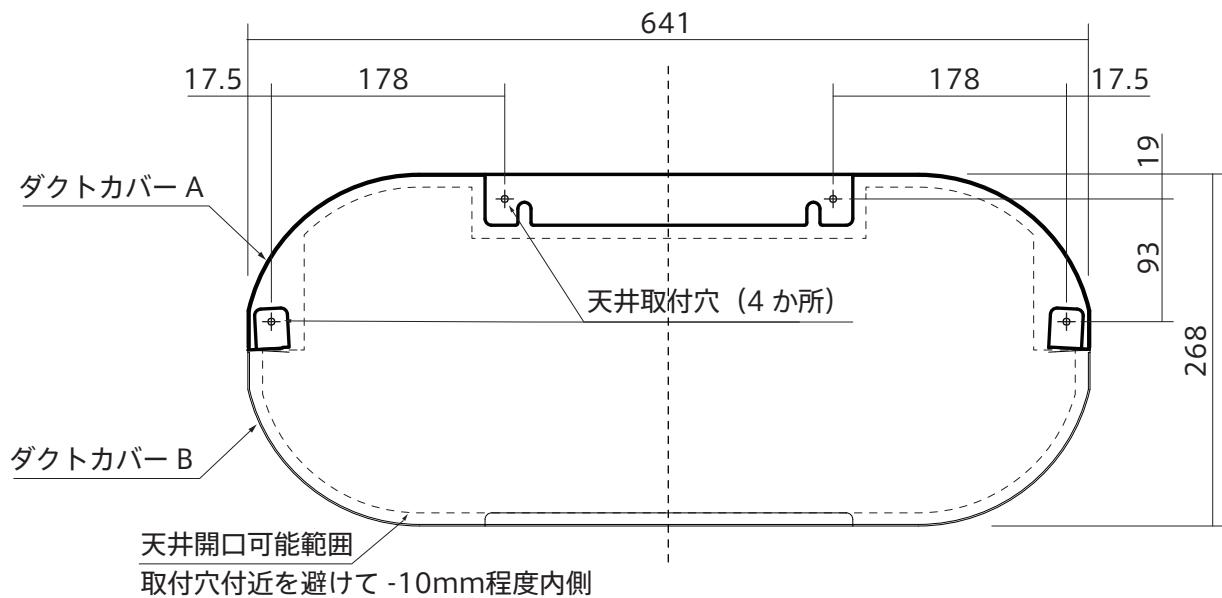
2 ダクトカバーA下部の固定

- ・P10「フードカバーの取付け」の作業まで終わらせてください。
- ・天吊りワッシャーと天井までの距離と、ダクトカバーAの高さが合っているか確認してください。
- ・フード本体の吊りプラケット上側のナット2本を緩めダクトカバーAを差し込みます。差し込んだ後、緩めたナットでカバーを固定します。

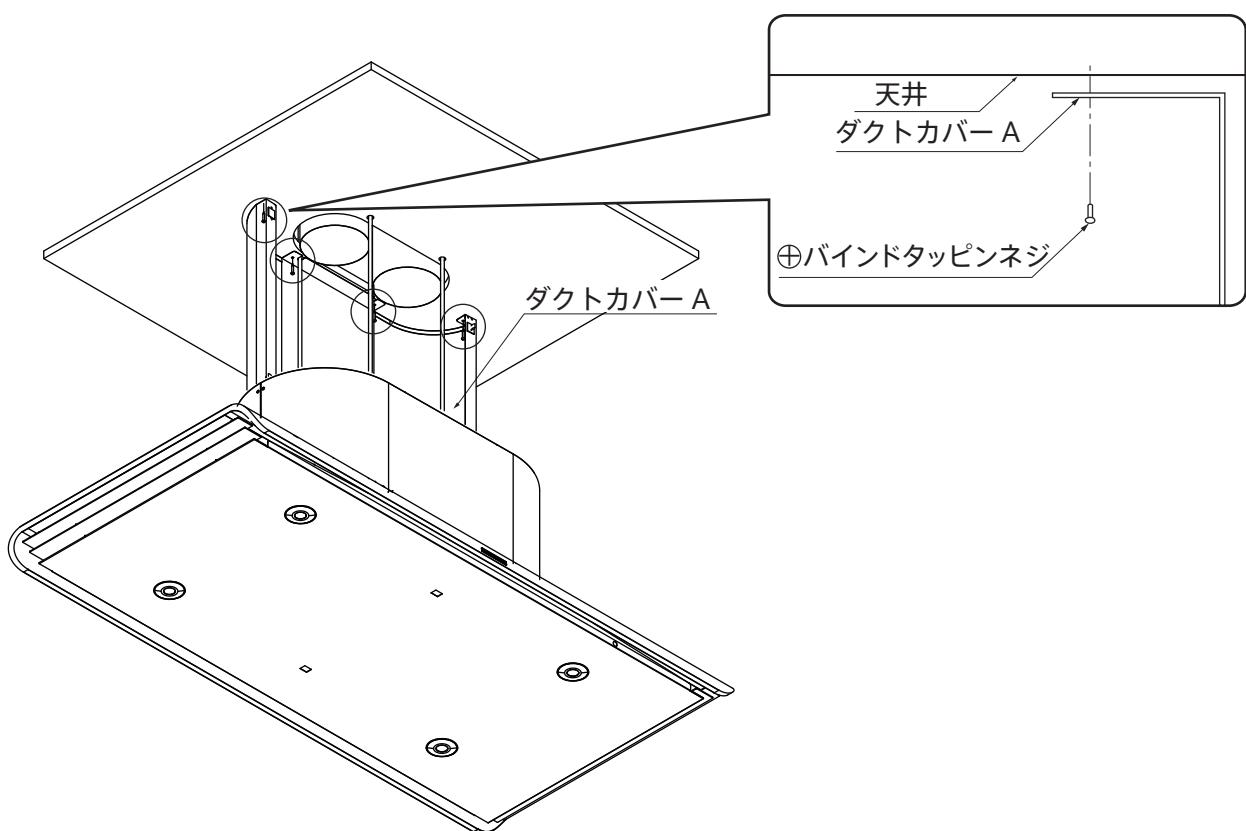


3 ダクトカバー A 上部の固定

- ダクトカバー A と天井を 4 ケ所ネジで固定します。ビスはΦ3.8 バインドタッピンネジを推奨ビスとします。天井の仕様に合わせて必要であればアンカーを使用してください。

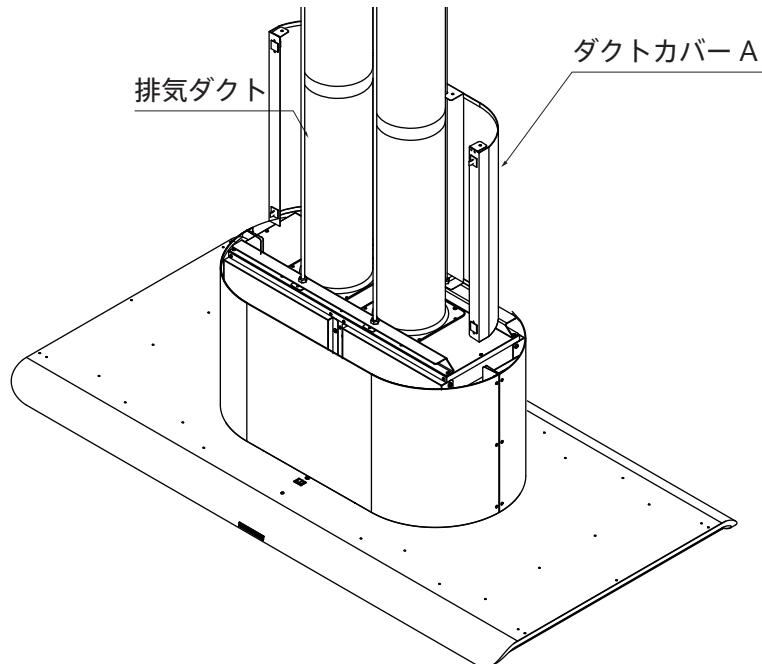


上面図 1/10



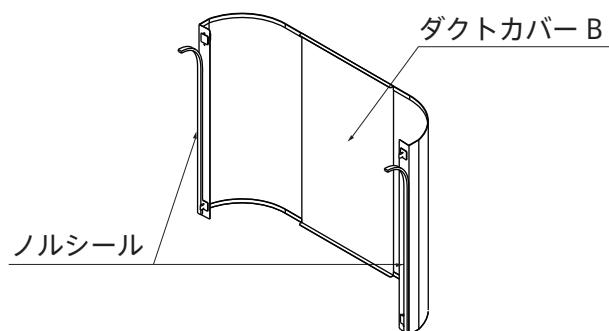
4 排気ダクトの連結

- ダクトカバー A の上下が固定できたところで、排気ダクトを連結してください。



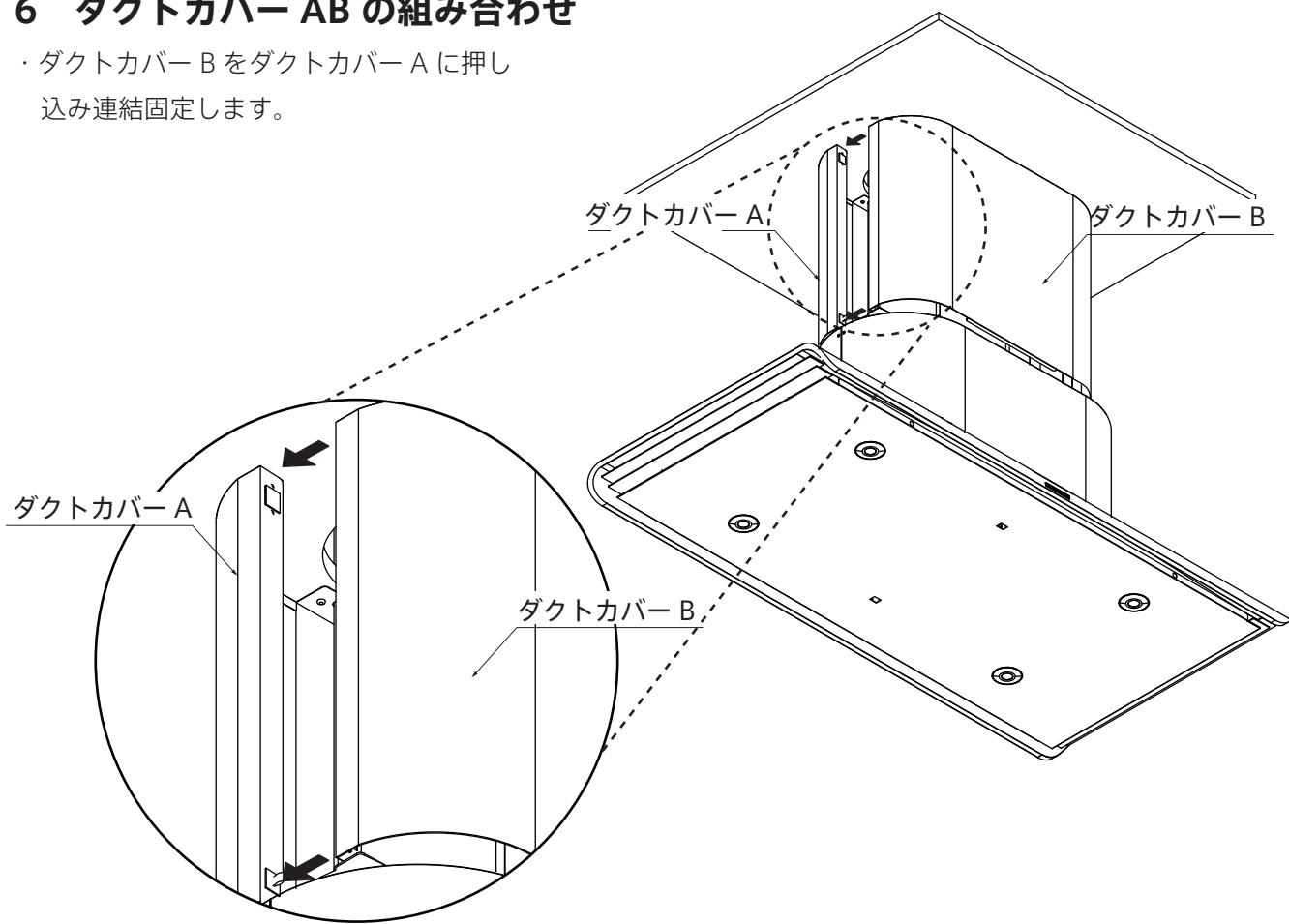
5 ノルシールの貼り付け

- ダクトカバー B に付属のノルシールを貼り付けてください。



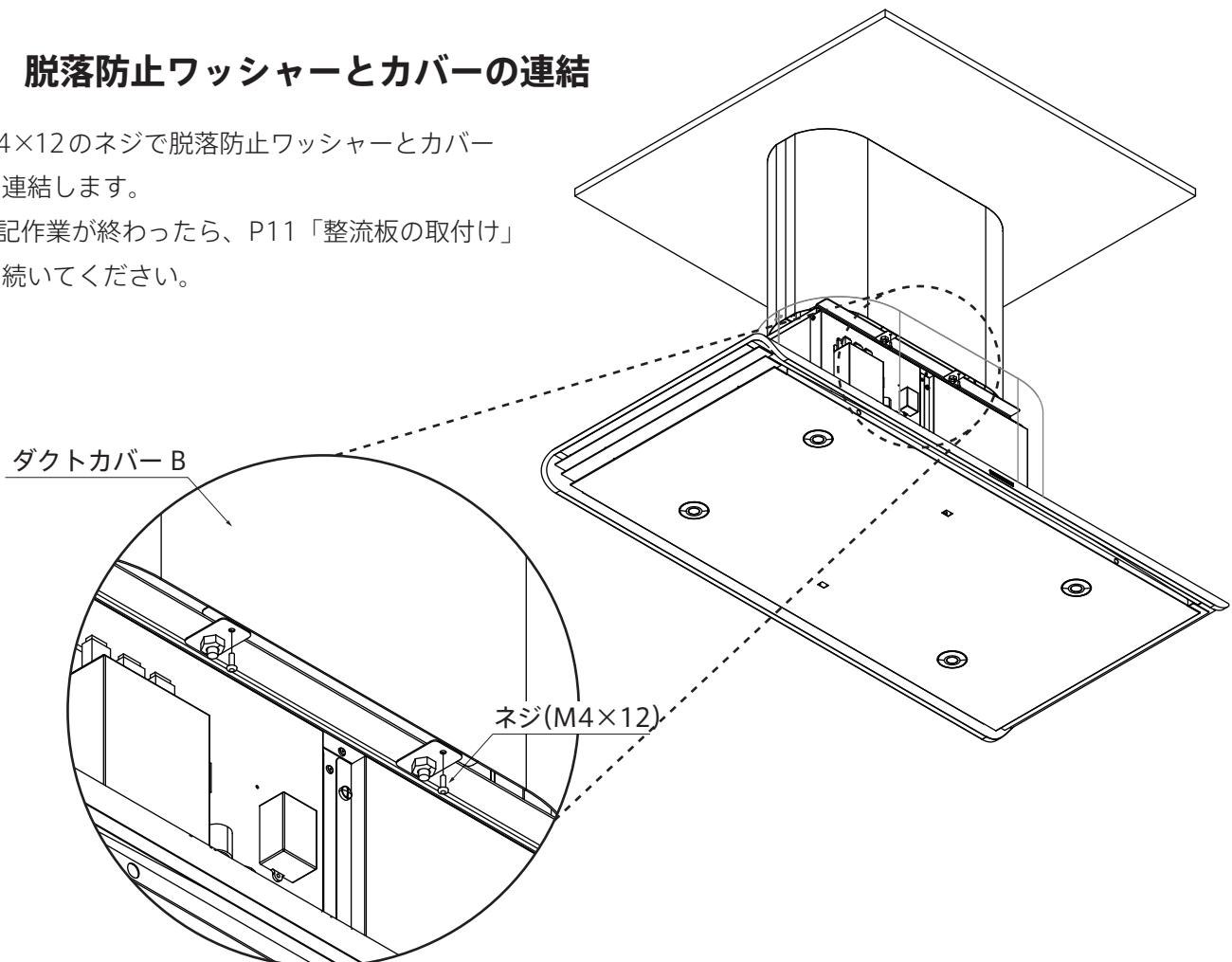
6 ダクトカバー AB の組み合わせ

- ダクトカバー B をダクトカバー A に押し込み連結固定します。



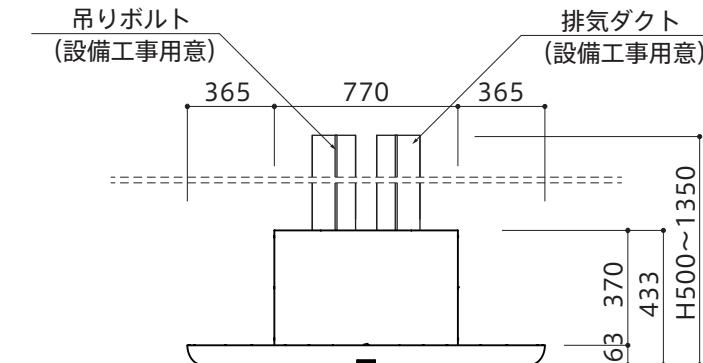
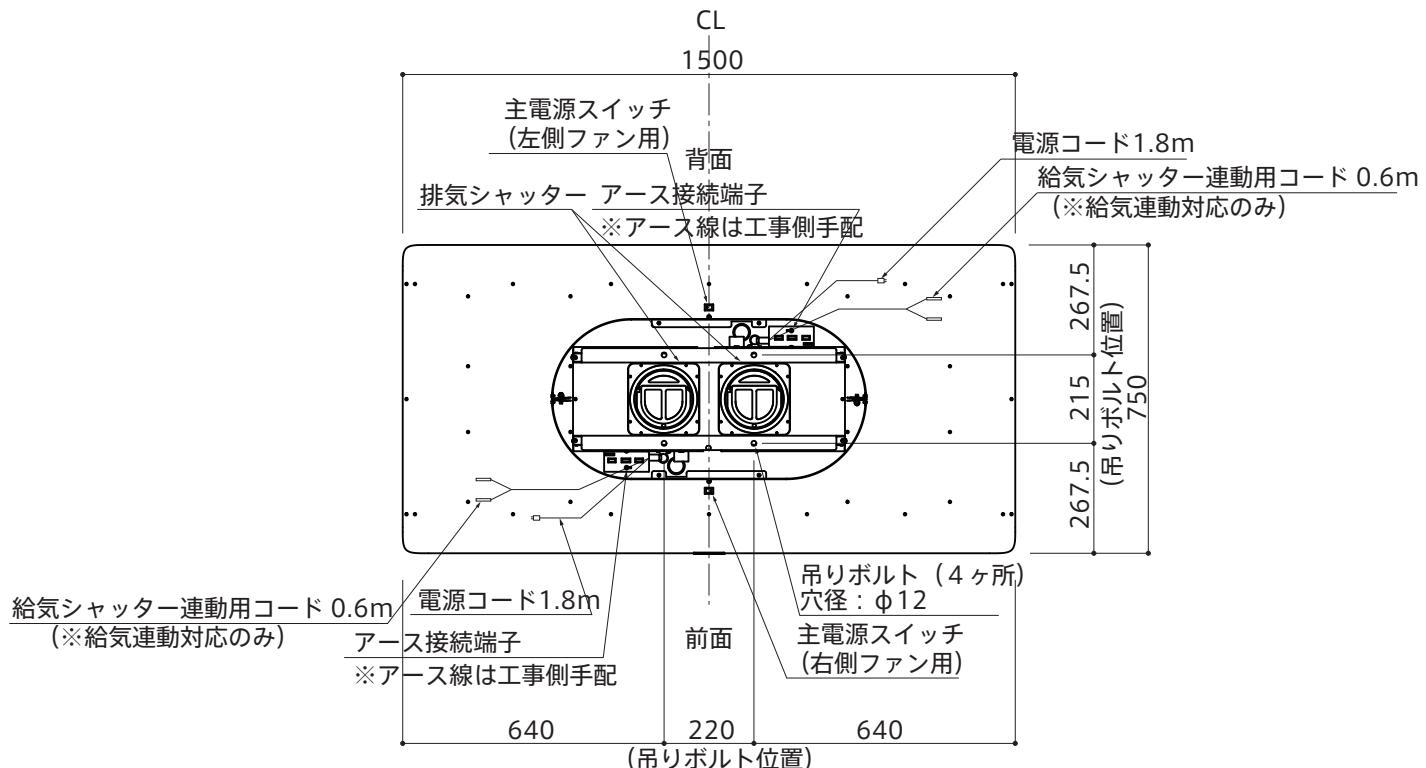
7 脱落防止ワッシャーとカバーの連結

- ・M4×12のネジで脱落防止ワッシャーとカバーを連結します。
- ・上記作業が終わったら、P11「整流板の取付け」に続けてください。

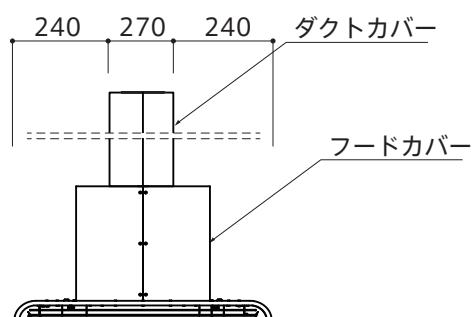
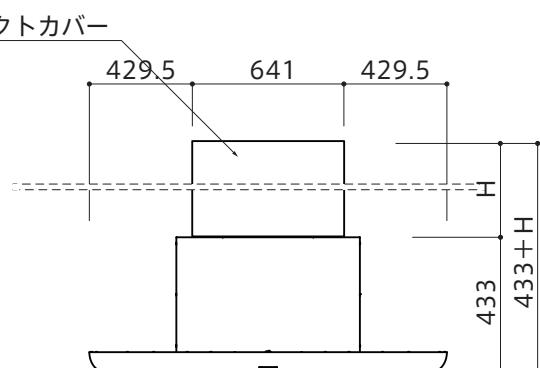
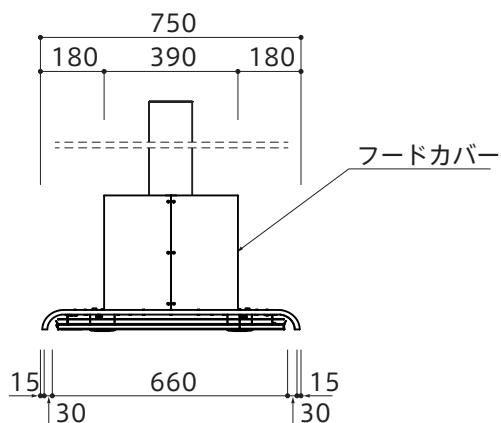


製品寸法図

※給気シャッター連動用コードは、TRUFO - S150CJ - 43、TRUFO - B150CJ - 43の場合。



※ダクトカバー (オプション品) 装着図



※H (ダクトカバーの高さ) = 150~1000mm

取付・設置後の点検・清掃

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- ・スイッチを入れて動作を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

TEL 050-3852-2392 〈受付時間 平日9:00~18:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)〉
メール tks@toyo1.toyokitchen.co.jp
FAX 0575-23-1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

